

講義・演習概要 (シラバス)

第1部課程第120期 (平成25年4月9日～平成25年9月4日)

課 目 名	ファシリテーション演習
時 限 数	3時限
担 当 講 師	高知のまちづくりを考える会 代表 畠中 智子 <プロフィール> ※裏面参照
ね ら い	これからのリーダーには、立場の違う様々な意見に耳を傾け、活かし、合意形成を図る会議運営能力が強く求められる。 本講義では、ファシリテーションの演習を通じて、誰もが主体的に参加できる会議運営手法の修得を図ることをねらいとする。
講 義 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ あったら便利、ファシリテーションの小道具とその使い方 ・ コミュニケーショントレーニング ・ つぶやき (意見) の引き出し方 ・ ファシリテーション・グラフィック
受講上の注意	
使 用 教 材	テキスト「つぶやきの育て方」 模造紙・プロッキー・付箋 等
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし



TOMOCO HATAKENAKA

畠中 智子

株式会社わらびの 代表取締役
高知のまちづくりを考える会 代表
NPO RIVER 副理事長
NPO 84 プロジェクト 理事

1959年高知県生まれ。1992年に「高知のまちづくりを考える会」発足後、市民誰もが自由に気軽に参加できる会議スタイルとして「ワークショップ」手法に注目。1994年に情報交換の機会として「第1回わくわくワークショップ全国交流会 in 香北」(現高知県香美市)を開催し、400人のまちづくり人らと交流しネットワークを築いた。それ以降、まちづくり、福祉、教育、人権、商品開発など、参加型の場面ならばジャンルを問わずワークショップ・ファシリテーターとして活動している。2012年12月、まちづくりや地域おこし、一次産業の振興などに関わる企画実践を主とした「株式会社わらびの」を設立。趣味、よさこい。

●しごといろいろ

1997年～高知県旧赤岡町まちづくり計画・絵金蔵設計・弁天座設計ワークショップ
2004年度「高知県観光ビジョン」策定業務
2005年～四万十とおわ道の駅商品開発ワークショップ
2007年～08年経済産業省の広域・総合観光集客サービス支援事業
「四万十また旅プロジェクト」アドバイザー・コーディネーター
2009年～経済産業省「ノウハウ移転事業」チーム四万十の一員としてワークショップを担当
青森県大間・石川県七尾・三重県熊野・静岡県伊豆・岡山県笠岡など
2011年～宇和島市の地域資源を活用した商品開発と販路開拓事業
「うわじま旅プラン塾」(市民参加型旅行商品開発のワークショップを企画、運営)
2012年～東北新聞バッグプロジェクト「ツクルシゴトツクル」ワークショップ担当
2013年～宇和島地域雇用創造協議会の着地型観光ビジネスモデル推進事業
「パワーアップ!うわじま旅プラン塾」講師 ほか

●かっとういろいろ

2001年「第14回地域づくり団体全国研修交流会高知大会」実行委員長
2008年～こどもたちが運営するまち「とさっ子タウン」実行委員
2011年～12年「とさっ子駅弁開発プロジェクト」(トヨタ財団助成)プロジェクトリーダー
2011年～高知の一次産品勝手に応援プロジェクト「土佐旅福」代表
2012年～13年「ファンドレイジング・ジャパン in こうち」副実行委員長 ほか

●講師いろいろ

総務省自治大学校／ファシリテーション担当
愛媛大学／非常勤講師、ワークショップ論
こうち人づくり連合／市町村管理職人権研修担当

研修テキスト

「つぶやきの育て方」(南の風社)



●委員いろいろ

高知県外部相談員・高知県セクハラ相談員・高知県河川委員・高知県牧野記念財団評議員
高知市教育研究所運営委員 ほか